

第2学年 道徳指導案

平成27年1月16日（金）第5校時

安田町立安田小学校

第2学年（男子4名、女子7名、計11名）

場所 2年教室

授業者 谷口 由紀

1. 主題名 きまりを守るとみんなが気持ちいい（内容項目4－(1)規則尊重、公德心）

2. ねらいと資料

（1）ねらい けん君の心情の変化を通して、自分のことばかり考えず、みんなで約束を守ろうとする態度を育てる。

（2）資料名 「だいじな㊦㊧㊨㊩」（出典：彩の国の道徳 道徳教育指導資料集―東日本大震災に関連した出来事をもとに―「心の絆」埼玉県教育委員会）

3. 主題設定の理由

（1）ねらいや指導内容についての教師の考え方

内容項目4－（1）は、児童が生活する上で必要とされる社会規範を守るとともに、公德心をもち、それらの精神を日々の生活の中に生かしていく児童を育てようとする内容項目である。まず、約束やきまりを守ろうとする態度を育てることができようにする必要がある。その過程で公德心を養い、さらに、社会の法やきまりのもつ意義について考えるとともにそれを遵守し、自他の権利を尊重するとともに義務を大切にする精神をしっかりと身に付ける必要がある。規範意識を児童に育てるためには重要な内容項目であるといえる。

低学年においては、まだ自己中心性が強く、自分勝手な行動をとることが多いので、約束やきまりをしっかりと守ろうとする態度を育てることが大切である。

（2）児童の実態と教師の願い

本学級の児童は、学校や学級生活にも慣れ、授業や学校生活の中でルールやきまりを守りながら、意欲的に活動に取り組む場面も増えてきた。しかし、ルールやきまりの大切さを意識できているものの、自分勝手に行動してしまう傾向にある児童もいる。

「高知県実践的防災教育推進事業」の県指定を受けている本校では、意図的・計画的に防災教育に取り組んでいる。これまでに「屋内外で起きた揺れからの身の守

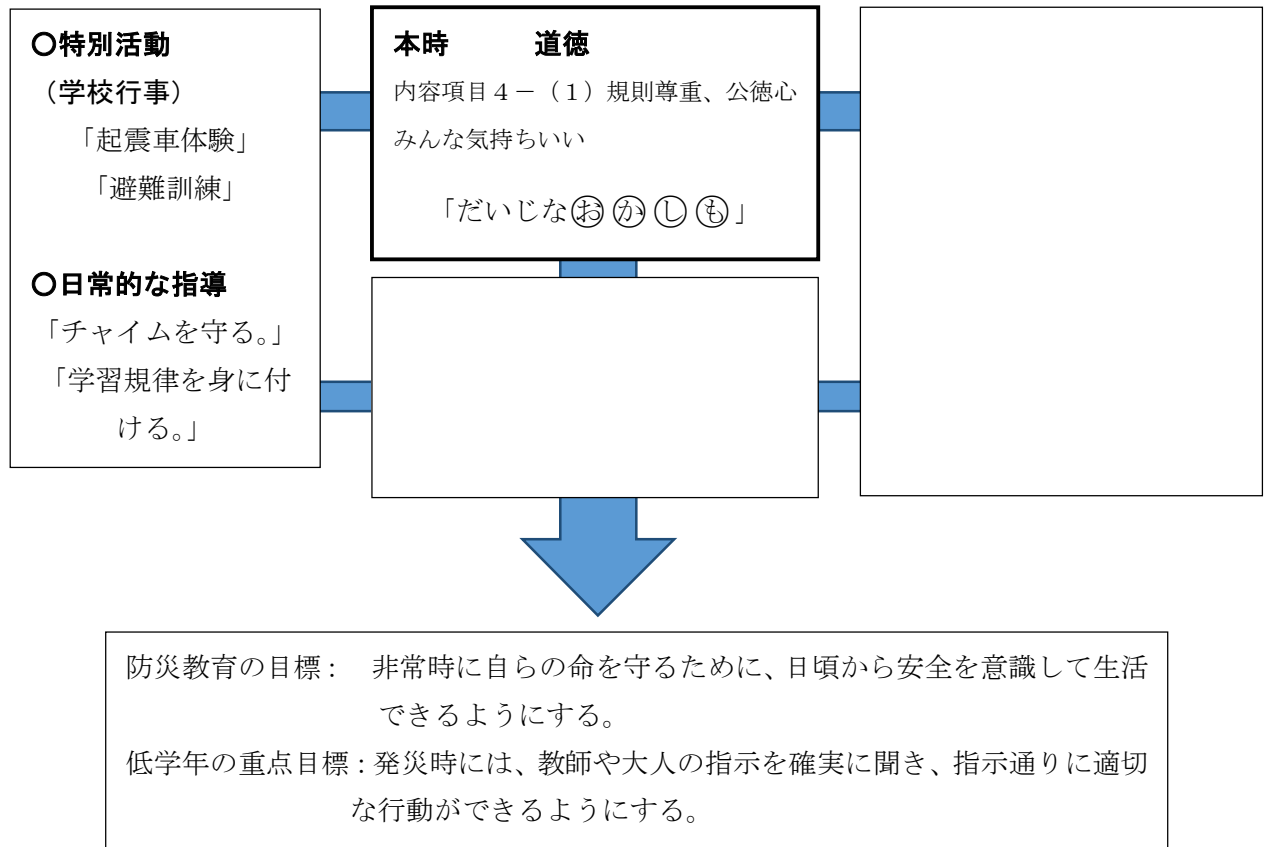
り方」や「津波からの逃げ方」を学習してきた。起震車体験を通し、大きな揺れも体験している。大きな揺れの恐怖感を感じながらも、しっかり揺れからの身の守り方を実践できていた児童もいれば、揺れ自体を面白く感じ身を守る行動を取ってない児童もいた。本校で行われた集中避難訓練では、机の下に隠れているときにきまりの「しゃべらない」を守れていない子がいた。まだまだきまりやルールなどはみんなのためにあるという意識が薄く、その意識に基づききまりやルールを守っていかうとする態度は弱いと考えられる。

(3) 使用する資料の特質や取り上げた意図及び児童の実態と関わらせた指導の方策

本資料は、東日本大震災に関わりのある出来事を題材として取り上げている。主人公「けんくん」たちが休み時間にドッジボールを始めようとしていた時に避難訓練が始まる放送が流れる。訓練であることや休み時間を奪われた気持ちからなかなか避難行動に移せない。校長先生の⑧⑨⑩⑪の話聞き、主人公「けんくん」は、自分の態度がどうだったか考える。そして3月11日、実際に東日本大震災が起これ、けん君は泣きたい気持ちを我慢しながら避難し、みんながとった避難行動の結果、みんなにけががなかったことを校長先生の話から知ることになる。避難訓練という具体的な行為を指導するのではなく、訓練の意義や参加する態度などを考えさせることを通して、約束やきまりを守ることの大切さを考えることができる資料となっている。

指導にあたっては、休み時間に突然避難訓練を行うことになった主人公「けんくん」の心情を考えることを通して、自分たちの身の回りにあるきまりやルールを守ることの大切さや意義、きまりやルールを守ること、自分や皆が安全に過ごすことができることに気付かせたい。そのことを通して、自分の生活を振り返り、きまりやルールを守ろうとする態度を育てていきたいと考えている。

4. 他の教育活動との関連（防災教育）



5. 学習指導過程

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応 ◎中心発問	指導上の留意点 ※評価の視点
導入	1. 「 $\textcircled{\text{お}}$ $\textcircled{\text{か}}$ $\textcircled{\text{し}}$ $\textcircled{\text{も}}$ 」について振り返る。	・避難のときの約束、 $\textcircled{\text{お}}$ $\textcircled{\text{か}}$ $\textcircled{\text{し}}$ $\textcircled{\text{も}}$ を覚えていますか。	・避難訓練の写真や $\textcircled{\text{お}}$ $\textcircled{\text{か}}$ $\textcircled{\text{し}}$ $\textcircled{\text{も}}$ の掲示物を開示し、興味・関心を持たせる。 ・ $\textcircled{\text{お}}$ $\textcircled{\text{か}}$ $\textcircled{\text{し}}$ $\textcircled{\text{も}}$ をこれまでの避難訓練で守れてきたかどうか振り返らせる。

展開	2. 資料を読み、話し合う。 (1) 休み時間中に「避難訓練が始まる」という放送を聞いた時のけんくんの気持ちを考える。 (2) 校長先生の話聞いた、けんくんの気持ちを考える。 (3) 東日本大震災にあったけんくんのことをワークシートに書き、ペアで話し合い、発表する。 3. 自分の生活について振り返る。	○アナウンスを聞いたけんくんは、どんな気持ちになりましたか。 ・いやだなあ。 ・また避難訓練か。 ・ドッジボールがしたいなあ。 ・聞いてない振りしよう。 ・避難訓練が終わったら、休み時間の延長をしてほしい。 ・早く終わってほしい。 ・大事な時間が奪われたなあ。 ○校長先生の話聞いて、けんくんはどんなことを考えたと思いますか。 ・いけないことをしたなあ。次は守ろう。 ・㊦を守れなかったのは僕のことだ。 ・分かっているけど、休み時間に訓練しないでほしい。 ・いやだいやだと思っていた自分が恥ずかしい。 ◎泣きたい気持ちを我慢して助かったけんくんは、その後の校長先生の話聞いた時、どんなことを思いましたか。 ・おかしもを守れたから助かったんだ。 ・おかしもを。 ・真面目に練習することって大事なんだなあ。 ・約束って大事だなあ。 ○きまりって大事だなあと思ったことはありますか。	・「これから、ひなんくんれんをはじめます。」と「じしんです。きょうしつにいる子は、つくえの下にもぐりなさい。校ていにいる子は、まん中にあつまって、すわりなさい。」というアナウンスを聞いたときのけんくんについて考えさせる。 ・けんくんと同じような気持ちになったことはないか問いかける。 ・㊦の字のきまりを守れなかったことに対して、自覚と反省の気持ちはあるけど、素直になれない葛藤が生じていることに気付かせる。 ・校長先生の話聞いて、すぐによい方向へ気持ちが変わるだろうかと揺さぶる。 ・東日本大震災の写真を掲示し、その状況をイメージしやすくする。 ・「なきたい気もちをがまんして」とあるが、何を我慢しているのかを問い、地震の際の緊張感を想像させる。 ※約束やきまりが大事なことに気付けている。
----	--	--	--

大事な①お②か③し④も

名前_____

○なきたい気持ちをはがまんしてたすかったけんくんは、校長先生の話聞いた時、どんなことをかんがえたでしょう。



○今日のじゅぎょうで大じだと思ったことや気づいたことを書きましょう。
